

山西の歴史・文化

中西 陽介

授業開始から早くも3ヶ月が経ちました。だんだんと耳が慣れてきて、先生が話す中国語は大体理解できるようになりました。ただし、毎日の予習、復習は欠かせません。やはり中国語は難易度が高いなど、毎日実感しています。

日中は気温も高く過ごしやすいのですが、夜になると急に冷え込みます。うっかり半袖・短パンで寝てしまうと、夜中に寒さで起きてしまうこともあります。そのせいもあり、この時期、風邪をひいてしまっている留学生もたくさんいます。この急激な気温の変化は、山西の気候の特徴であるようです。

先日、山西省の京劇院にお邪魔させていただきました。舞台公演の他、稽古の様子も見学させていただき、とても感激いたしました。京劇は伝統的な古典演劇の一つです。中国には五大演劇（京劇・越劇・評劇・豫劇・黄梅戲）と呼ばれるものがあり、なかでも京劇は中国の国粹とされ、世界的にも大変有名な演劇です。欧米では Chinese opera として知られています。



京劇

五大演劇以外にも、各地にそれぞれ地域伝統の演劇があります。ここ山西にも「晋劇」と呼ばれる劇があり、山西の方言を使って演じられます。

晋とは山西の別名で、はるか昔この地方を統治していた国家の名前です。

春秋時代（紀元前770年～紀元前476年）、晋国は強大な発展をとげました。しかし今でも、様々な場所で「晋」という名前を見かけます。太原市の隣は晋中市です。ホテルや銀行の名前の一部にも使われていますし、車のナンバープレートの上にも、晋という文字が使われています。

太原市内には、山西省の博物館があり、青銅器、陶器、漆器、書画など多くの収蔵品が展示されています。晋時代の様々な物品も数多く陳列されていて、山西の歴史を楽しく学ぶことができます。博物館の外観もとても特徴的で、「鼎」をイメージし、安定と吉祥を象徴しているそうです。

ざっと計算しても、2500 年以上の歴史がある太原。悠久の歴史に圧倒されます。



博物館